

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 読むこと

1 単元の目標

- (1) 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。〔知識及び技能〕 (1)ア
- (2) 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。〔思考力、判断力、表現力〕 B(1)オ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと	
単元名	作品を読んでテーマを見つけ、調べて発表しよう （「嘘」）					書くこと	
						読むこと	○
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。		「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。		作品について文化的背景を基に、話し合う活動を通して、当時の文化を粘り強く調べる中で、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
テーマを決めて発表したり、課題について意見をまとめたりする活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動			重点項目			評価方法
				知	思	態	
1	全文を通読し、初読の感想を書く。 ①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②語句調べをしながら、全文を通読する。 ③ペアで感想を話し合う。 ④初読の感想を書く。			○			・行動の観察 （話し合い） ・記述の確認 （感想文）
2	班でテーマを決めて考察し、クラス全体で発表する。 ⑤前時に書いた初読の感想を基に編成した班で、特に取り上げたテーマについて決める。 ⑥テーマについて、本文に沿って精読し、自分なりの解釈をワークシートに記入する。 ⑦班でテーマに関する自分の意見を話し合い、考察する。 ⑧考察したテーマと内容をクラス全体で班ごとに発表する。				○	○	・記述の確認 （ワークシート） ・行動の確認 （発表）
3	登場人物の立場に自分を置き換え、自分の考え方に気付く。 ⑨前時の発表を踏まえて、なぜ久助君は太郎左衛門を許す気持ちになったかワークシートにまとめる。 ⑩自分が久助君の立場なら、太郎左衛門を許すか、許さないかを、その理由とともにワークシートにまとめる。 ⑪グループになり、まとめたものを読み合って意見を話し合う。				◎	◎	・記述の分析 （ワークシート・振り返り）

	②振り返りと感想を書く。				
定期考査		◎			

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	作品の内容や解釈を的確に踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、作品を自分事として捉えた上で、説得力のある自分なりの考えをもっている。	作品の内容や解釈を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、作品を自分事として捉えて、自分なりの考えをもっている。	作品の内容を理解し、自分事として捉えている。